

第9回「山の日」全国大会 FUKUI 2025

未来へつむぐ、ふくいの山々
ー感謝と共生のこころを次世代へー

大会報告書



第9回「山の日」全国大会





目次



大会概要	2
------	---

【第1章】 式典・行事等の記録

プレイベント	6
--------	---

歓迎レセプション

実施概要	7
プログラム	7
挨拶	8
歓迎アトラクション	8
会場の様子	9

記念式典

実施概要	10
プログラム	11
荒島岳 朗読	12
歓迎アトラクション①	12
歓迎アトラクション②	12
登壇者紹介	13
国歌独唱	13
開会宣言	14
主催者挨拶	15
歓迎挨拶①	16
歓迎挨拶②	17
歓迎挨拶③	18
祝辞（ビデオメッセージ）	19
来賓挨拶①	20
来賓挨拶②	21

来賓挨拶③	22
「山の日の歌」合唱	23
ふくいの山を守る活動報告	23
トークイベント	24
リレーセレモニー	26
山鐘（8点鐘）	26
山鐘（11点鐘）	26
次期開催地挨拶①	27
次期開催地挨拶②	28
閉会の言葉	29

歓迎フェスティバル

歓迎フェスティバル（概要）	30
歓迎フェスティバル（大野会場）	31
歓迎フェスティバル（勝山会場）	34

トレイルウォーク	36
----------	----

オプションルツアー	37
-----------	----

関連イベント	38
--------	----

【第2章】 資料

開催までの経緯	40
広報	41
制作物	44
実行委員会・運営委員会	46
運営委員長挨拶	48
協賛社・協賛団体一覧	50

大会概要

■大会名称

第9回「山の日」全国大会FUKUI2025

■大会期間

令和7年8月10日(日)～11日(月・祝)

※トレイルウォークは4月～7月にかけて実施

※関連イベントは4月～11月にかけて実施

■開催地

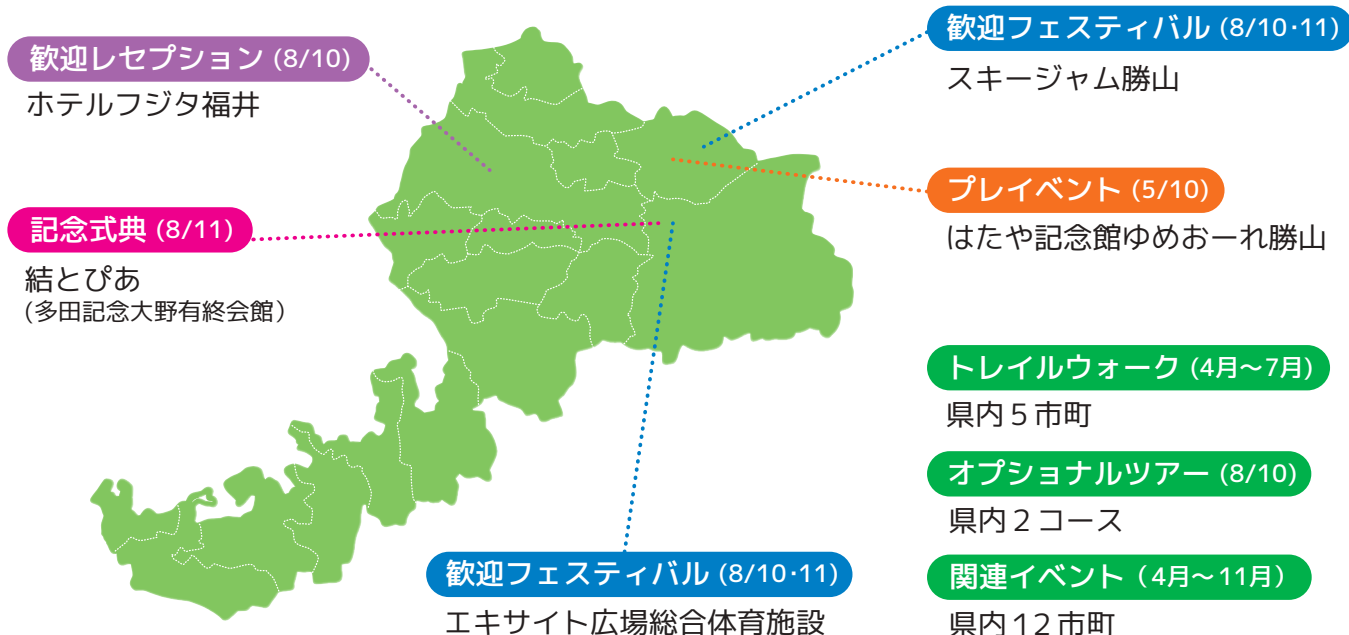
福井県 福井市・大野市・勝山市

※関連イベントは県内各市町で開催

■行事概要

日時		行事概要	場所	備考
5月10日 (土)	10:00～ 16:00	プレイベント	はたや記念館ゆめおーれ勝山	一般参加
8月10日 (日)	10:00～ 17:00	歓迎フェスティバル	エキサイト広場 総合体育施設	一般参加
			スキージャム勝山	
	17:00～ 18:30	歓迎レセプション	ホテルフジタ福井	招待者
		オプションツアー	①一乗谷朝倉氏遺跡、東尋坊 等 ②大本山永平寺、平泉寺白山神社 等	一般公募
8月11日 (月・祝)	9:30～ 12:00	記念式典	結とぴあ (多田記念大野有終会館)	招待者 一般公募
	10:00～ 17:00	歓迎フェスティバル	エキサイト広場 総合体育施設	一般参加
			スキージャム勝山	
4月～7月		トレイルウォーク	県内5市町	一般参加
4月～11月		関連イベント	県内12市町	

■開催場所



■開催趣旨

- 国民の祝日「山の日」は、山に親しむ機会を得て、その恩恵に感謝する日とされており、平成28年から、趣旨の浸透を図ることを目的に、「山の日」全国大会が各地で開催されてきました。
- 福井県は、本州のほぼ中央部に位置し、面積の大半を山地が占めていますが、ほとんどが1500m以下の低山であることから、古くから山村が多く点在し、山の恵みを享受しながら生活を営んできた歴史があります。
- 福井県の山は、日本百名山の荒島岳を始めとして、四季を通じて日帰りで楽しむことができる山が多く、気軽にニッコウキスゲやササユリなどの高山植物や美しい景色を楽しむことができます。また令和5年8月には、大野市の経ヶ岳山麓に広がる南六呂師エリアが、星空の世界遺産とも呼ばれる「星空保護区®」の認定を受けるなど、新たな魅力が再認識されています。
- 越山若水の言葉のとおり、越前の緑豊かな山々と若狭の清らかな水の流れに象徴される美しい自然に恵まれた福井県で開催される第9回「山の日」全国大会では、たくさんの方々をお招きし、本県の山の魅力や豊かな恩恵を広く発信することで「山の日」への理解を深めるとともに、美しい日本の山々を将来の世代に引き継いでいく大会にしていきます。

■大会テーマ

未来へつむぐ、ふくいの山々

ー 感謝と共生のこころを次世代へ ー

- ・ 清らかな水や豊かな生態系、美しい景観など山の恵みへの感謝のこころ
- ・ このような人の営みに深く関わってきた山を守る共生のこころ
- ・ これらを未来・次世代に引き継ぐ大会とする

■大会共通テーマ

「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」

未来を担う子供たち誰もが「山」を考え「山の日」制定を祝う全国大会の参加機会とするため、子供たちの「山への想い」を表現したもの。

※第1回「山の日」記念全国大会において全国公募より選定されたテーマ

■大会ロゴマーク



第9回「山の日」全国大会

第9回「山の日」全国大会ロゴマーク


- ・ 福井平野を囲む山並みを輪の形でイメージ
- ・ 手前を昼、奥を夜の山とし、恐竜や星空のシルエットを描き、福井らしさを表現

「山の日」全国大会統一ロゴマーク

- ・ 子どもたちの「山と人との関わり」を具現化

※長野県（旧安曇村、旧奈川村）の小学生がモチーフ制作に関わり作成。





【第1章】 式典・行事等の記録

イベント

本大会の開催を広くPRし機運を高めるため、山と自然を題材にした体験や、狩猟に関する展示・企画を通じて、さまざまな山の魅力を発信しました。

■実施概要

【日 時】2025年5月10日(土) 10:00～16:00

【会 場】はたや記念館ゆめおーれ勝山

【来場者】約700名

■出展

- 山の日PR・自治体PRブース
- アウトドア体験ワークショップ（木加工体験や狩猟体験など）
- 山菜たけのこご飯ふるまい
- キッチンカー



歓迎レセプション

豊かな福井県の地元食材を活かした郷土料理で、招待者をおもてなししました。
福井の食の恵みの提供と懇親の場づくりとしました。

■実施概要

【日 時】2025年8月10日(日) 17:00～18:30

【会 場】ホテルフジタ福井 天山の間

【参加者】128名(招待者)

■プログラム

時刻	次第	内容
16:00	受付	ウェルカムドリンク、大会PR動画、企業協賛PR動画
17:00	開宴	
17:02	歓迎アトラクション	ハープ演奏(白崎 ひとみ)
17:12	開宴の言葉	実行委員会副会長 全国山の日協議会副会長 務台 俊介
17:15	主催者挨拶	実行委員会会長 福井県知事 杉本 達治
17:18	歓迎の言葉	実行委員会副会長 福井市長 西行 茂
17:21	来賓挨拶	福井県議会議長 宮本 俊
17:24	来賓紹介	
17:26	乾杯	実行委員会副会長 勝山市長 水上 実喜夫
17:29	御懇談	
18:21	次期開催地挨拶	岐阜県知事 江崎 禎英 高山市長 田中 明
18:27	閉宴の言葉	実行委員会副会長 大野市長 石山 志保
18:30	閉宴	

■挨拶

開宴の言葉



実行委員会副会長
公益財団法人全国山の日協議会副会長
務台 俊介

主催者挨拶



実行委員会会長 福井県知事
杉本 達治

歓迎の言葉



実行委員会副会長 福井市長
西行 茂

来賓挨拶



福井県議会議長
宮本 俊

乾杯



実行委員会副会長 勝山市長
水上 実喜夫

次期開催地挨拶



岐阜県知事
江崎 禎英

次期開催地挨拶



高山市長
田中 明

閉宴の言葉



実行委員会副会長 大野市長
石山 志保



司会者
堀内 久美子

■歓迎アトラクション

ハープ奏者 白崎 ひとみ

【曲目】

○1曲目 ツァーベル作曲
「噴水」

○2曲目 服部良一メドレー
「青い山脈～蘇州夜曲～
東京ブギウギ」



■会場の様子



お料理

- | | |
|-------------------------------|------------------------------------|
| ○越前おろし蕎麦 | ○荒島パークのポワレ 県産和がらしのソース添え |
| ○ソースカツ丼（いちほまれ） | ○大野・和泉 穴馬スイートコーンの冷製スープ |
| ○湧水育ち 勝山やまのサーモンのマリネ 県産若芽のピュレー | ○若狭牛 ホホ肉煮込み |
| ○焼鯖寿司、へしこ押し寿司、小鯛笹漬け押し寿司 | ○ヒラメの敦賀おぼろ昆布蒸し |
| ○寿司盛り合わせ（福井サーモン、地の烏賊ほか） | ○コンソメロワイヤルに福井の大和錐であがった甘えびのコンソメを流して |
| ○お造り（越前甘えび、敦賀真鯛ほか） | ○へしことシラスのピザ |
| ○大野里芋ころ煮 | ○海鮮のXO醤塩味炒めと九頭竜まいたけ添え |
| ○すこ | ○県産パークと野菜の甘酢ソース掛け |
| ○角麩辛子味噌和え | ○若狭牛モモ肉のロースト 三年子花らっきょう |
| ○竹田の厚揚げ煮 | ○フルーツ盛り合わせ |
| ○永平寺胡麻豆腐 味噌掛け | ○デセール取り合わせ |
| ○地野菜と茸のシンプルなサラダ 越のルビーを加えて | ○コーヒー |
| ○地鶏の河和田産の山うに焼 | |

ドリンク

- | | | |
|---------------------------------------|----------|-------------|
| ○日本酒 黒龍 いっちょうい（吟醸酒） | ○ビール | ○ノンアルコールビール |
| ○日本酒 一本義（生貯蔵酒） | ○ソフトドリンク | ○ウイスキー |
| ○日本酒 花垣
（純米、純米吟醸、純米無濾過生原酒、本醸造、大吟醸） | ○赤白ワイン | ○焼酎 |

記念式典

越前の緑豊かな山々と若狭の清らかな水の流れに象徴される美しい自然に恵まれた福井県。山で活動する人や子ども達による発表を通じて、福井の山の魅力を発信し、福井の山々の素晴らしさ、恩恵、感謝の心を次世代につむぎました。

実施概要

【日 時】2025年8月11日(月・祝) 9:30～12:00

【会 場】結とびあ(多田記念大野有終会館) 多目的ホール

【参加者】557名(招待者、一般参加者等)



■プログラム

区分	時刻	次第	内容
開 場	8:45	受付・参加者入場開始	大会PR動画、企業協賛PR動画、新福井県民歌
プロローグ	9:30	開会	
	9:32	歓迎映像	大会PR動画
	9:37	歓迎アトラクション① 歓迎アトラクション②	郷土芸能等の披露 浦上雄次とキッズのタップダンス 郷土芸能等の披露 奥越太鼓保存会による太鼓演奏
式 典	10:00	登壇者紹介	
	10:03	山鐘（8点鐘）	緑の少年団、日本ボーイスカウト福井連盟、 ガールスカウト福井県連盟
	10:08	開会宣言	実行委員会顧問 全国山の日協議会副会長 衛藤 征士郎
	10:12	国歌独唱	ヒナタカコ
	10:15	主催者挨拶	実行委員会会長 福井県知事 杉本 達治
	10:19	歓迎挨拶	実行委員会副会長 福井市長 西行 茂 実行委員会副会長 大野市長 石山 志保 実行委員会副会長 勝山市長 水上 実喜夫
	10:31	祝辞(ビデオメッセージ)	実行委員会名誉顧問 全国山の日協議会会長 谷垣 禎一
	10:35	来賓挨拶・来賓紹介	環境大臣政務官 五十嵐 清 林野庁長官 小坂 善太郎 超党派「山の日」議員連盟会長 衆議院議員 小淵 優子
	10:44	「山の日之歌」合唱	ヒナタカコ、福井市少年少女合唱団
	10:55	ふくい山の山を守る活動報告	福井県山岳連盟会長 山本 利幸
	11:05	トークイベント	登壇者4名（福井県知事、山の日アンバサダー等）
	11:39	リレーセレモニー	次期開催地へ「山の日帽」の引き継ぎ 次期開催地挨拶 （岐阜県知事 江崎 禎英、高山市長 田中 明）
	11:49	閉会の言葉	実行委員会副会長 全国山の日協議会副会長 務台 俊介
	11:53	山鐘（11点鐘）	緑の少年団、日本ボーイスカウト福井連盟、 ガールスカウト福井県連盟、福井市少年少女合唱団
	11:59	閉会	
終 了	12:00	式典終了	

■荒島岳 朗読

福井県で学生時代を過ごした『日本百名山』の著者、深田久弥氏。百名山の一つである荒島岳の箇所を朗読で紹介しました。



■歓迎アトラクション①

浦上雄次と「足音」タップダンスチーム

タップダンサー 浦上雄次氏とダンススタジオ「足音」のキッズダンサーによる、近代的なパフォーマンスを披露し、参加者の皆さまをお迎えしました。



■歓迎アトラクション②

奥越太鼓保存会

「豊年太鼓」や「雨乞い太鼓」として発展してきた大野の伝統芸能「奥越太鼓」。太鼓を通じて山の厳しさなどを表現しました。



■登壇者紹介

【来賓】

五十嵐 清 環境大臣政務官

小坂 善太郎 林野庁長官

小淵 優子 超党派「山の日」議員連盟会長
衆議院議員

【実行委員会委員】

衛藤 征士郎 実行委員会顧問
公益財団法人全国山の日協議会副会長

杉本 達治 実行委員会会長
福井県知事

西行 茂 実行委員会副会長
福井市長

石山 志保 実行委員会副会長
大野市長

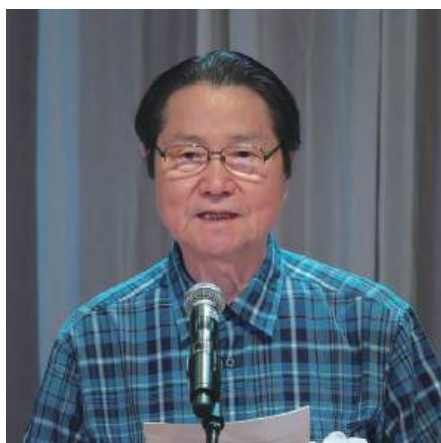
水上 実喜夫 実行委員会副会長
勝山市長



■国歌独唱

シンガーソングライター
ヒナタカコ





第9回「山の日」全国大会実行委員会顧問
公益財団法人全国山の日協議会副会長

衛藤 征士郎

第9回「山の日」全国大会 FUKUI2025 にあたり、地元福井県の皆様の多大なるご尽力、また山岳関係団体各位の力強いご協力、スポンサー企業のご支援にまず深く敬意を表し、厚く感謝御礼を申し上げます。

おかげさまで、荒島岳はじめ数々の名山がそびえ立つここ福井に、我々山岳愛好者が相集い、山の日を祝し、山の日に込めた熱い思いを分かち合う本日となりました。

2014年、国会で8月11日を「山の日」と定める改正祝日法案が可決され、2016年8月11日から国民の祝日となり、まさに10年の節目となりました。

山岳5団体による「山の日」制定協議会の発足、国会における「山の日」制定議員連盟の発足はもとより、1960年代から「山の日」を作ろうと鋭意努力された多くの諸先輩各位に衷心より敬意を表し、またその熱き思いに私たちは本当に感謝御礼を申し上げるところであります。

「ふるさとの山に向ひて言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな」
この歌に人々は共感を深くしております。国内外の気高い峰々に誰もが一様に畏敬を抱き、感動を覚えるところであります。

10年を重ねた「山の日」がその趣旨、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を広く国民に伝え続けていくことを願い、さらに日本から世界に向けて、雄大な自然を尊重する気持ちを発信することは、世界平和への一つの確かな歩みと確信しております。

先ほど山鐘がありましたが、若者たちの山鐘が豊かな心と大自然の響きとして、福井の峰々に、日本中の山々に、世界の人々の心に届くことを期待して、第9回「山の日」全国大会 FUKUI2025 の開会を宣言します。



第9回「山の日」全国大会実行委員会会長
福井県知事

杉本 達治

本日は、全国各地から第9回「山の日」全国大会 FUKUI2025 にお越しいただき、感謝を申し上げます。先ほど開会宣言を賜った、全国山の日協議会副会長の衛藤征士郎様、超党派「山の日」議員連盟会長の小淵優子衆議院議員、五十嵐清環境大臣政務官をはじめとする各省庁の皆様、並びに全国山の日協議会の皆様のお力添えをいただき、本日ここに、北陸エリア初となる全国大会を盛大に開催できることを心から感謝しております。

式典に先立ち、お聴きいただいた新福井県民歌に「国どころ 越前若狭たたなはる 山しうるはし」という一節があります。私たちのふるさと越前若狭、連なっている山々も美しいという意味です。文字通り、福井県は北から南まで多くの美しい山々に囲まれています。

小説家であり、山岳研究家でもあった深田久弥先生は、学生時代を母方の故郷で美しい山々に囲まれた、ここ福井県で過ごされたことが登山の魅力に目覚めるきっかけとなり、後の著書『日本百名山』執筆の原動力となりました。

福井県の山は県内最高峰の経ヶ岳以下、ほとんどが 1500m 以下の低山ですが、「山高きが故に貴からず、樹あるを以て貴しと為す」という言葉がある通り、高い山ではないですが、太古の昔から人類の歴史はこれらの山や森、水、自然の豊かな恵みを受けて連綿と続いております。

私たちは今日でも、林業、観光業などの産業、水資源、山の幸、自然教育の場など、数えきれない多くの山の恩恵を受けています。今日の「山の日」は、山に親しむ機会を得て、その恩恵に感謝する日です。日常の一部となり、普段あまり意識することのない山の恵みに改めて意識を向け、感謝の気持ちを持つことが重要です。

本大会のテーマは、「未来へつむぐ、ふくい山々 ―感謝と共生のこころを次世代へ―」です。県としても、自然と触れ合う機会や自然を体験できる施設の整備、里山里海湖の再生と活用、たくましさや社会性を育む「アウトドア教育」の充実、野生鳥獣の適切な管理などを積極的に推進し、この素晴らしい山々や自然環境を未来の世代へと繋いでいきたいと考えております。

また、福井には日本百名山の一つ、「荒島岳」や日本遺産にも選ばれた「平泉寺白山神社」、「恐竜博物館」など見どころも多くあります。こうした福井の山や観光情報もしっかり発信し、多くの方に福井の魅力を感じていただけるよう PR にも力を入れてまいります。本日ご来場の皆様におかれましては、ぜひこの機会に福井県の自然や歴史、文化、美味しい食べ物などをご堪能いただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力をいただいた関係者の皆様に心から感謝を申し上げますとともに、本日ご列席のすべての皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。



第9回「山の日」全国大会実行委員会副会長
福井市長

西行 茂

第9回「山の日」全国大会 FUKUI 2025 の開催にあたりまして、県内外から多くのお客様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。心から歓迎を申し上げます。

福井市は、福井県の北部に位置する県庁所在地であり、市の中心に広がる福井平野とその周囲を取り囲むように連なる豊かな里山、そして西部には日本海という、美しい自然環境に恵まれた地域です。

山々から流れ出る清らかな水によって、福井平野では肥沃な水田地帯が発展し、現在では「米どころ福井」として知られています。また、福井の山並みがもたらす豊かな水や湿潤な気候は、「繊維王国福井」の発展に大きく寄与し、地域の産業・経済を支えてまいりました。

市民生活に欠かせない恵みをもたらし、地域の産業や文化を育む源泉として、重要な役割を果たしてきた山との繋がりを再認識し、その価値を次世代へと引き継いでいくことはとても重要なことであり、この全国大会の開催は大変意義深いものと考えています。

昨年3月に北陸新幹線が福井へ延伸し、県外から多くのお客様が本市を訪れております。市内には足羽山や文殊山など、標高が比較的低く初心者でも気軽にハイキングを楽しめる山、いわゆる低山が多くございます。市街地から近く、観光のついでに訪れていただける山もございますので、皆様もぜひ一度、福井市の低山にも足を運んでいただきたいと思います。

結びに、この全国大会が成功をおさめ、「山の日」を通じて、全国の皆様との繋がりがさらに深まりますことをご祈念申し上げ、また多くの皆様に福井へお越しいただいたことに感謝を申し上げまして、歓迎のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



第9回「山の日」全国大会実行委員会副会長
大野市長

石山 志保

皆様こんにちは。大野市長の石山でございます。

「日本百名山」荒島岳の麓の地へ、多くのご来賓の皆様、全国各地から愛山家の皆様、関係者の方々をお迎えできますことは、開催地の首長として大変嬉しく心より歓迎いたします。

大野市は福井県の東部に位置し、県内で最も大きい面積を有し、四方を白山の支脈などの美しい山々に囲まれています。その約9割を占める広大な森林では多種多様な生き物が育まれ、森林で浄化された清く豊かな水が九頭竜川などの川となり、人の生活と大地に潤いを与えながら海に注がれています。

令和5年に中部縦貫自動車道が市内に延伸し、大野インターチェンジから九頭竜インターチェンジまで供用開始されたため、荒島岳や九頭竜ダム、九頭竜湖のエリアへ行きやすくなりました。

九頭竜エリアの新緑や紅葉の頃の美しさは息をのむほどです。豪快な山岳風景と広大なダム湖が広がる中、カヤックやSUP（サップ）、オートキャンプ、化石発掘など、豊富なアクティビティを満喫できます。

荒島インターチェンジの前には、北陸最大級の道の駅「越前おおの 荒島の郷」が立地します。地元食材にこだわったグルメをはじめ、地元産品が豊富に揃っています。アウトドアブランド「モンベル」のストアやカフェが出店。カヌーやクライミング等の体験も楽しめます。

六呂師高原の星空は、令和5年に星空の世界遺産と呼ばれる「星空保護区®」に認定されました。経ヶ岳などの山々に抱かれながら、ハンモックに包まれての星空観賞や、オートキャンプ場を利用して日本一美しい星空を堪能いただけます。四季折々に変化する風景は、市民はもとより、訪れる人々の心を癒してくれます。可能な限り、ゆっくりと本市にご滞在いただければと願います。

北陸地域初開催となる「山の日」全国大会に向けて、関係者の皆様と準備を進めてまいりました。昨日より、大野市エキサイト広場総合体育施設にて、歓迎フェスティバルを開催しています。大野市の山や自然の魅力を十分に満喫していただきたいと思います。本大会を契機に、山の恵みに感謝し、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継いでいくこと、福井の山の魅力と恩恵を皆様と広く共有できることを期待しています。

結びにあたり、関係機関の方々、並びに本日ご参集くださいました皆様に御礼を申し上げますと共に、皆様のさらなるご活躍とご健勝を記念いたしまして、歓迎の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。



第9回「山の日」全国大会実行委員会副会長
勝山市長

水上 実喜夫

おはようございます。ご紹介いただきました、勝山市長の水上と申します。第9回「山の日」全国大会が、ここ福井県で開催されることは無上の喜びであります。

実行委員会副会長の1人として、また開催地でもあります勝山市の代表として、心より歓迎申し上げます。

勝山市は、この大野市と永平寺町の間にあります、人口2万人の町でございますが、私どもは大体市域の8割が山に囲まれています。霊峰白山の麓でございますが、岐阜県、福井県、そして石川県、富山県にまたがる両白山地の、その大日国境沿いに町並みがございます。

この両白山地のエリアは、そのまま白山国立公園のエリアでもあり、また恐竜化石が多数発掘される、そういった地層のエリアでもあります。こういった中で、私ども白山平泉寺におきましては、先日33年に一度の御開帳に多くの方に訪れていただきました。白山平泉寺は、白山に至る越前禅定道の入り口として717年に開かれ、今日まで多くの方々の信仰を集めてまいりました。

この平泉寺から白山に至る道沿いにある法恩寺山、こちら法恩寺山は、私ども本日の「山の日」全国大会の会場の1つにもなっています「スキージャム勝山」のエリアでもあります。

スキージャム勝山、西日本最大級のスキー場として、毎年多くのお客様においでになっていただいておりますが、まさに私ども勝山市は平泉寺、そしてこのスキージャム、山の恵みで成り立っている町でもあります。どうか、今日はこの開会式の後、勝山会場にも足をお運びいただきたいと思います。

それから勝山市は、全国の8割の恐竜化石を発掘する「恐竜のまち」でもあります。福井県立恐竜博物館には年間126万人のお客様がおいでになり、今年の春には永平寺キャンパスで福井県立大学恐竜学部がオープン。来春からは、勝山キャンパスで多くの学生たちが恐竜について学ぶ、そういった準備を進めています。この恐竜博物館、そして恐竜学部が建設される長尾山総合公園は、美しい里山として多くの貴重な動植物が暮らす自然の里山でもあります。この里山の魅力も、どうか今日は満喫していただけたらと思っています。

本大会では、自然体験、地元の文化に触れるプログラムなど、多彩な催しが予定されています。それぞれの場で山に関する思いや知識を共有し、未来へと繋げる一歩となることを願っています。次世代を担う若い世代にとって、山との関わりを深めるきっかけとなることを心から期待しています。

今回の大会開催に、皆様の熱意とご尽力があつてこそ、このように盛大に実現しました。開催に向けご協力くださいました関係機関の皆様、そして遠方よりお越しいただきました皆様に深く感謝を申し上げ、歓迎の言葉といたします。本日は誠にありがとうございます。

■祝辞（ビデオメッセージ）



第9回「山の日」全国大会実行委員会名誉顧問
公益財団法人全国山の日協議会会長

谷垣 禎一

皆さん、おはようございます。

全国山の日協議会会長の谷垣禎一でございます。

「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」。

これを趣旨とする国民の祝日「山の日」が 2016 年に施行され、
ここ福井県において第 9 回目となる「山の日」全国大会の
記念式典、それと歓迎フェスティバルが盛大に開催されます

ことに、心からお祝いを申し上げます。また、福井県、福井市、大野市、勝山市の皆様をはじめ、関係する
各機関の皆様の尽力に感謝申し上げます。

さて、第 9 回「山の日」全国大会のテーマは「未来へつむぐ ふくい山々 ― 感謝と共生のこころを
次世代へー」というものでございます。福井県は、本州のほぼ中央に位置し、面積の大半を山地が占めて
おり、古くから山村が多く点在し、人々は山の恵みを享受しながら生活を営んできた、そういう歴史が
ございます。

四季を通じて気軽に美しい景観や、植物を楽しむことができる山が多く、「越山若水（えつざんじゃく
すい）」の言葉のとおり、越前の緑豊かな山々と、若狭の清らかな水の流れに象徴される美しい自然
に恵まれた福井県で、第 9 回「山の日」全国大会が開催され、山の魅力とその恩恵が広く発信される
ことで、「山の日」への理解がさらに深まり、美しい日本の山々を将来の世代に引き継いでいく志を新た
にする大会となるよう準備されてきました。

一方で、これは昨年の東京大会でもお伝えしたことです、豊かな自然環境は自然災害の発生と表裏の
関係にあり、特にここ数年、自然の猛威にさらされることが頻発しており、「山に親しむ」ことのあり方に、
「自然の脅威に対応できる人づくりと街づくりを内包させて考えるべきではないか」と思っております。
そうした意味ではこの祝日が、山と自然の「学びの場としての機能」にも思いを巡らしていただく契機
となり、災害に強い国づくりの観点からも、自然体験によってたくましい子供たちが育成されることを、
この大会を機に、この地でしっかりと取り組みいただけることを願っております。

こうした感謝と共生の心を未来へ紡ぐことを掲げた大会が開催されることによって、性別、国籍、人種、
年齢、世代、貧富や障がいの有る無しに関わらず、誰もが「山と自然に親しむ権利」を持つことが世界に
向けて発信され、それが未来の人々へと引き継がれ、「山の日」以外の 364 日においても、末永く
その努力が為し続けられますことをご期待申し上げ、開催の祝辞といたします。



環境大臣政務官

五十嵐 清

皆様こんにちは。ご紹介をいただきました、環境大臣政務官の五十嵐清です。

はじめに、第9回「山の日」全国大会を主催する実行委員会、福井県および福井市、大野市、勝山市の皆様が、これまでの準備や様々な活動に取り組んでこられたことに対して、この場をお借りして心からの敬意を表したいと思います。

「山の日」が祝日となって10年目を迎えることとなる本日、この式典に環境大臣政務官として参加できることは、大変光栄でございます。祝日として「山の日」を有するのは、我が国だけです。

日本は、国土の7割が緑豊かな山からなる「山の国」であり、日本人は古くから山に畏敬の念を抱き、山の恵みに感謝しながら生きてまいりました。こうした山への思いや、美しい日本の山々は、次の時代を担う子どもたちに着実に引き継いでいかなければなりません。

今回の開催地である福井県には自然公園が4つあり、その中でも白山国立公園の「白山」は、富士山、立山と並び、「日本三名山」の一つに数えられております。古くから「信仰の山」として知られ、福井県側は平泉寺白山神社から越前禅定道を通して、山頂までの登拝路が設けられています。

私も昨日、禅定道の途中に位置し、白山の登山口でもある市ノ瀬地区を視察しました。多くの高山植物が咲き、圧倒的な大パノラマの景色が広がるとともに、信仰の山としての風格や品格を兼ね備えている、それが白山であり、地域の方々や本当に多くの国民の皆様にあ愛されている山なのだと、改めて実感をしたところでございます。

美しい自然を体感して多くの方々に感動していただくとともに、国立公園の貴重な自然を、しっかりと次世代に引き継げるよう、取り組んでまいりたいと思います。

今日という日が多くの国民にとって、山に親しむ機会となり、また山の恩恵に感謝するきっかけとなることを願ってやみません。

最後になりますが、福井県および、関係自治体の今後ますますのご発展をお祈りするとともに、ご列席の皆様と共に山への思いを共有できることに感謝をし、私からのお祝いの言葉に代えさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



林野庁長官

小坂 善太郎

皆さん、こんにちは。ご紹介いただきました、林野庁長官の小坂でございます。本日、「山の日」全国大会記念式典開催にあたり、一言ご挨拶させていただきます。

今年で第9回を迎えた「山の日」全国大会が、ここ福井県大野市において、このように盛大に開催されますこと、心よりお慶び申し上げます。開催にご尽力いただきました福井県、福井市、大野市、勝山市、全国山の日協議会をはじめとした

関係者の皆様方、そのお取組に対して厚く御礼を申し上げたいと思います。また、ご列席の国会議員の先生方におかれましては、様々な場でご指導いただいていますこと、厚く御礼を申し上げます。

さて、福井県には、「日本百名山」の荒島岳をはじめとした美しい景色、景観を楽しむことができる身近な山が多くございます。山に親しみ、山の恵みを感じながら、清らかな水や豊かな生態系、そういったものに囲まれながら暮らしてきた、この福井の人々には、そういった山との付き合いの歴史があるんじゃないかというふうに思います。こうした山への感謝の気持ちが、今回の大会のテーマである「未来へつむぐ、ふくい山々ー感謝と共生のこころを次世代にー」に込められているものだと思います。

私たちは毎日の生活の中で、山から、森林から、たくさんの恩恵を受けています。例えば、二酸化炭素を吸収する「地球温暖化防止」、災害から生活を守る「国土の保全」、雨水を蓄えゆっくり流す「水源涵養」、「レクリエーションの場」、「生物多様性の保全」、そして木材をはじめとした「林産物の供給」。特に、我が国におきましては、先人が植えてくれた人工林があり、この大半は50年生を超え、利用可能となっております。この人工林を「伐って、使って、植えて、育てる」。森林資源の循環を図ることにより、地域の林業・木材産業が元気になり、地方創生に繋がりますし、森林木材が持つCO₂の吸収貯蔵効果により、2050年ネットゼロの実現にも繋がります。

こうした森林、山の効用を最大限に発揮すべく、林野庁におきましては、川上から川下に至る総合的な施策を進めているところでございます。この福井県では、「大きな林業」と「小さな林業」を組み合わせ、山の価値を最大化し、さらには稼げる林業と山村地域の活性化を図り、森林を適切に整備・管理していく。こういったことを目指した施策を進められておられます。林野庁におきましても、こうした取り組みが全国に広がるよう、取り組みを進めていきたいと考えているところでございます。

また、農林水産省におきましては、本年5月に滝波副大臣のもと「地方みらい共創戦略」を策定しました。林野庁ではこの戦略に基づき、登山を始めとした山の魅力、さらには森林空間の活用、企業の皆さんの森づくり活動、森林の空間や機能に価値を見出し、山村地域に賑わいを、雇用を創出する、いわゆる「森業」という取り組みを進めております。こうした、森業という取り組みを林業・木材産業と合わせ推進することにより、山村地域の振興を図って参りたいという風に考えております。皆様方とこのような政策を推進していくことを、ご期待お願い申し上げたいと思います。

結びになりますが、本日の「山の日」全国大会を機に、国民の皆様が山の自然と、そこにある森林に対する理解と関心を深める良い機会になることを期待するとともに、ご参集の皆様方のご活躍とご健勝をご祈念申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



超党派「山の日」議員連盟会長
衆議院議員

小淵 優子

皆様こんにちは。ただ今ご紹介をいただきました、超党派「山の日」議員連盟会長、衆議院議員の小淵優子でございます。先ほど開会のご挨拶をされた衛藤征士郎先生から、この重責をお預かりすることになりました。今日も超党派議員連盟の皆様方も合わせて参加をさせていただいています。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

改めまして、第9回となりますこの「山の日」全国大会が、この福井にて大変盛大に開催されますことを心からお慶びを申し上げます。開催地であります福井県、各市の皆様方、関係者の皆様方に、心から敬意を表し感謝を申し上げたいと思います。合わせまして、スポンサーの皆様方、またお集まりの皆様方には、日頃から「山の日」を盛り上げ、そして、山や自然の魅力を発信していただけてますことに、心から感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

さて、この超党派「山の日」議員連盟であります。2013年に「山の日」を作ろうということで立ち上がりまして。そして2014年には法改正が行われ、2016年に8月11日「山の日」が祝日となりスタートしたわけであります。

議連といたしましては、当初の目的はしっかりと達成をすることができたということではありますけれども、今、例えば、登山道ですとか、山小屋ですとか、そうしたもののインフラ整備、あるいは子供たちの自然体験を推進していくことなど、まだまだ課題があります。議連の中では、超党派でしっかりそうした課題を解決するために議論してまいりたいと考えています。

さて、私自身は、群馬県選出の国会議員であります。群馬県にもたくさんの山々があります。例えば、赤城、榛名、妙義、これらは上毛三山と呼ばれ、県民に大変親しまれています。実は群馬県の子供たちは、運動会をやる時は、赤組・白組に分かれるわけではありません。赤城団、妙義団、榛名団ということで、山の名前に分かります。人数が多い学校になりますと、それに加えて浅間団というのも入りまして、こうした形で山の名前で戦うということになるわけがあります。今回、北陸新幹線が延伸をされましたので、福井の皆様方も群馬県に直接来ることができますので、ぜひ皆様方にも群馬の山を楽しんでいただくとともに、草津や伊香保などの温泉地もたくさんありますので、ぜひ遊びに来ていただければ大変嬉しく思うところであります。

結びになりますが、「山の日」議連といたしましては、これからも皆様方がより安全に、そしてより山を深く愛していけるように、色んな整備、また議論を進めてまいりたい。そのことを改めてお誓いを申し上げます。

開催にあたりまして、ご尽力いただいた多くの皆様方に改めて感謝を申し上げ、そしてこの「山の日」がますます発展をしますように、お集まりの皆様方のご健勝ご多幸をあわせて祈念を申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

■「山の日の歌」合唱

ヒナタカコと福井市少年少女合唱団

「ふるさと」と、「山の日」制定を記念して制作された山の日の歌「山はふるさと」の2曲を合唱し、会場に歌声を響かせました。



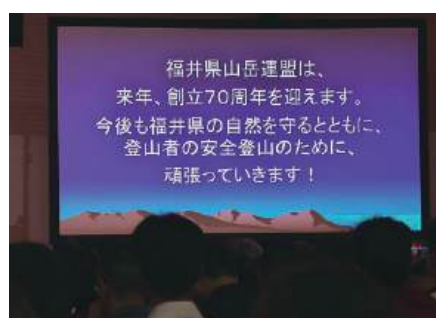
■ふくい山の山を守る活動報告



福井県山岳連盟会長

山本 利幸

登山道の整備や安全登山教室など、山を守り、次世代を育てる福井県山岳連盟の取り組みについて報告してもらいました。



■トークイベント

福井の山の魅力や豊かな恩恵、楽しみを、多彩なパネラーがそれぞれの活動の視点から語り、「ふくい山を未来へつむぐ」想いをみなさんと語り合ってもらいました。



杉本 達治
福井県知事



仲川 希良
モデル / フィールド
ナビゲーター /
山の日アンバサダー



望月 詩織
地域おこし協力隊 /
イラストレーター /
星カフェ運営



HIRO
福井県公式観光サイト
公認ふく旅ライター



司会 **増谷 寧々**
FBCアナウンサー

福井の山との関わり

増谷 ここからは「トークイベント」を始めたいと思います。それでは、最初に皆さんがどのようなきっかけで福井の山と関わるようになったのか。自己紹介をかねながら、お話ししていただきたいと思います。最初は、地元福井のHIROさんからよろしくお願いします。

HIRO HIROと申します。ふくい生まれふくい育ちの生粋のふくいっ子です。「地味にすごい」と、言われる福井県の魅力を発信したくて、県内の企業で人事を勤めるかたわら、福井県公式観光サイトのライターの仕事もしています。

福井の山とのきっかけは、近所の「冒険塾」というアウトドアについて学ぶ塾に通っていて、そこの先生と毎週末、福井の山に登ることが最初でした。奥越の山々や荒島岳、時には野坂岳にも登りました。そこで見つけたかっこいい水晶が、私の子どもころの宝物でした。このように連れて行ってくれる大人の方がいて、自然との体験を通じて山が好きになったのがきっかけです。

仲川 モデルでフィールドナビゲーターの仲川希良です。女性向けアウトドア誌の「ランドネ」はご存じでしょうか。この「ランドネ」で登山ウェアを紹介するモデルとして登場したことがきっかけで、山の世界を知ることになりました。もともと、草花や虫などが大好きなこともあって、そこから山に登るようになり登山歴は15年になります。

福井との出会いは、2019年の若狭湾でのテレビ番組口けがきっかけでした。若狭湾が目の前に広がる素晴らしいロケーションで、澄み切った海でのサップや海の幸を味わう贅沢なキャンプ体験をしたのですが、そんな私たちのキャンプをずっと見守ってくれていたのが、「青葉山」だったんです。その翌日、展望台まで登ってみました。海と山がつながっている、素晴らしい景色でした。今日は皆さんのお話からさらに、福井の山の魅力を知ることができることをすごく楽しみにしています。

増谷 本日は素敵な登山ウェアでお越しいただきました。登山ファッションのポイントも伺ってもいいですか。

仲川 望月さんがワンピースをお好きと伺ったのでワンピースでも山に登れることをお伝えしたくて着てみました。登山ウェアはレイヤリング、重ね着がとても大事で、主に3つの層で構成されています。

一番下の「アンダー」は、吸水・速乾性が大事で、肌の汗をすぐ吸って乾かします。真ん中の「ミドル」は、保温性を高めて暖かさを保つための層です。一番外側の「アウター」は、外からの水や風を防ぐための層です。この3層構造をイメージしながら、今の山の環境にはどんなウェアが適しているのかを組み合わせながら、常に健やかに快適に山と仲良くできる機能を持っているのがアウトドアウェアなんです。

増谷 自分の好きなウェアでの登山も、山の楽しみの一つですね。

望月 大野市で地域おこし協力隊をしている望月詩織です。出身は山梨県甲府市で、2020年末に大野市の星空や水などの自然に惹かれて移住しました。福井の山との関わりですが、私は「星空の魅力」を伝える活動を通じて山と関わっています。星の情報発信やグッズ制作、昨年8月にオープンした星をモチーフにしたカフェの運営などを行っています。今日は移住者として、日々の暮らしに溶け込んでいる福井の山の恩恵や魅力について、皆さんにお伝えできたら嬉しいです。私はハイキングや登山は初心者です。なので今日は、私も新しい視点で福井の山の魅力を教えていただきたいなと思っています。

増谷 素敵な星空の写真ですね。大野では天の川が肉眼で見られるんですね。この写真は、望月さんが撮られたんですか。

望月 晴れたら山が近いので、すぐ車に乗って行って写真を撮ったくらい星を見たりしています。

増谷 最後に、杉本知事、よろしくお願いいたします。

杉本知事 山との関わりは最初に山登りしたのが長野県庁への出向時代の経験でした。常念岳という2800mくらいの山から槍ヶ岳まで縦走した2泊3日コースで、本当に大変でした。「二度と山は登るまい」と登山ではなく、山を楽しむ方にしようと思いました。福井県の副知事になったとき、公舎の近くに足羽山があったので、時々余裕がある時に登ったりすることで、「山を見る」などの「楽山」を楽しんでいます。

増谷 皆さんの自己紹介を、福井の山との関わりから伺いました。それでは次のテーマ「伝えたい福井の山の魅力は何ですか」に参りましょう。



伝えたい！ 福井の山の魅力

HIRO 先ほど知事も登られた「足羽山」は、町中で直線距離1kmくらいしかない。福井には登りやすい山がすぐ近くにある。荒島岳は、標高約1500m程で百名山の中では低いので、百名山ハンター内では後回しにされがちですが、実際に登った方に聞くと登りごたえがあって景色も良い、と仰っていただくことが多いです。また、式典の歓迎映像にも出ていた文殊山や、青葉山、日野山など、個性豊かで整備がきちんとされている低山がいっぱいあります。文殊山は365mの低山なので、真冬でも市民の方々が楽しんでいらっやいました。要は、登りやすくして最初の登山にふさわしい山が多いことが、福井の特徴だと思っております。

増谷 仲川さんは全国の色々な山を登っているかと思いますが、いかがでしょうか。

仲川 HIROさんのお話を伺って、難しすぎない、高すぎない、アクセスが良いという点がすごくポイントだと感じているのですが、そういった山が福井にはたくさんあることを伺って羨ましく思っています。私は今、5歳の息子を育児中ですが、子供が生まれてからは息子と一緒に山に行く機会が増えたんですね。近所にある「府中浅間山」という山は息子が初めて登頂した丘のような山ですが、標高は80mくらいで登山口から山頂までは10分ほどです。私の住む周辺は「武蔵野台地」が広がり、ここは多摩川によって削られ、跡としてこの丘が残ったのですが、「どうしてここにこんな山が？」と思うだけで、自分の住む土地の成り立ちについて思いを馳せるきっかけになります。標高の高い山は魅力がありますが、低いからといって魅力がないわけではないと思うんですよね。山は高さに関わらず、色々なことを教えてくれると思っています。山がある土地はその土地の文化・歴史・産業すべてに山が関わっていると感じています。難しい山に挑戦することも面白みがありますが、麓の観光と合わせて山に登るという「山旅」が好きなので、息子と一緒にこれからも楽しんでいきたいと思っています。

望月 私は星空の視点から福井の山の魅力についてお話したいと思います。天の川ってとても暗い場所に行かないと見られないイメージだと思うんですが、大野市は町の中心部からでも天の川を見ることができます。今日、皆さんがいるこの「結とぴあ」からも、空の状態がよければ天の川を見ることが出来るんです。隣の市役所の駐車場では星がとても綺麗に見えるので、毎月「星空鑑賞会」も開催されているのですが、県外の方が星を見に観光に来る、という不思議な「星空観光」が大野では行われています。身近な場所で美しい星空や自然の景色を楽しむことは、広大な福井の山々の存在が大きいですし、魅力の一つではないかと思っています。南六呂師エリアでは、星空の世界遺産と呼ばれる「星空保護区」に認定されていて、凄く綺麗な星空を見ることができます。また、北陸最大級の望遠鏡を備えた「福井県自然保護センター」や、ユニークなインスタントハウスのあるキャンプ場「SORA to DAICHI」も整備されていて、星空をたくさん楽しめる環境も整っています。ぜひ皆さんも福井の山々とともに、満天の星にも癒されにきてください。

増谷 大会テーマ「未来へつむぐ、ふくいの山々-感謝と共生のこころを次世代へ-」を受けまして、「未来につむぎたい福井の山」について、お話を伺っていきます。

「未来につむぎたい福井の山」

仲川 山に登るようになって、自然に対する謙虚な気持ちや山に対する感謝の気持ちがわくようになりました。山からの恵みでイメージしやすいのは「水」だと思います。日常で山を目にする

機会はないですが、「山」は決して遠く離れた特別な場所ではなく、水が生まれる場所でもあり、山と水の循環の中で私たちは生きている。それを山に行くたびに感じています。昨日、歓迎レセプションで、福井の美味しい食べ物をたくさんいただきました。大野の上庄里芋や勝山の湧き水で育てたサーモン、竹田の油揚げ…全部福井の名産品だと改めて知りました。調べてみると、どの品にも白山の伏流水や九頭竜川の豊富な水についてのお話が出てくるんですね。どんな土地の美味しいものも、山からの水によって育まれていることを改めて感じました。自然の恵みのおかげで私たちは生きているということを感じながら、これからも山を楽しんでいきたいです。

望月 大野市は令和5年度に「星空保護区」の認定を受けています。この認定を目指す目的を市役所の方に伺った時に、「子どもたちにこの美しい星空を残したい」と仰っていたのが印象的でした。もちろん、星空を観光資源として活用していくことも挙げていましたが、「今、地域で稼ぐこと」と、「自然を未来のために守っていくこと」。どちらも同じくらい大切に思っていることが伝わり、その想いがすごく素敵だと思いました。なので、私も市民の皆様のこういった想いを心に留めながら、これからも星空の魅力を伝える活動をしていきたいと思っています。

HIRO 先ほど仲川さんが話されていた「水」は重要なテーマだと思います。北陸は世界でも有数の豪雪地帯で、とても雪が降ります。この「雪」が山に溶けて染み込み、ろ過されて、湧き出る。この会場のすぐ近くにも「御清水」がありますが、福井県はこれに代表される水どころでもあり、米どころ、酒どころでもあります。そういった土壌がある中で、水や山の恵みなどをお子さんや若い世代の方々が体験で身近に感じて、大切にしていける。これが今後大事になっていくと思います。

増谷 それでは最後に、杉本知事、本日のトークイベント全体を通して、一言いただけますでしょうか。

杉本知事 福井の山というのは、もちろん山としても大事ですが、その恵みは本当に大事だと思います。福井を代表する伝統産業である「越前和紙」や「漆器」などは1500年の歴史があり、今でも全国トップクラスの産地で、山と共に生きてきた。だんだんと人は山に背中を向けてきている。これが、山との関係がうまくいかない原因なんじゃないかと思っています。だから、もう一度山と向き直る。例えば、林業も「木を伐って木を使う」だけではなく、ある人がそこに住み木を半分伐り、木で食べていきながら、伐った木を使って物を作り、また暮らす。こういうふうな、山に生かしてもらい生き方でそこに人が移り住むとか、「山の恵み」を私たちがそのまま産業として受け継いでいくことで、山や獣害にもまっすぐ向き合っていけるのではないかと思います。これからは「山と向き合う・楽しむ・登る」。こういった機会を増やしていくことで、自然と山の恵みをいただき、我々も感謝しながら、山の害も減らしていける。そういう社会にしていけたらと思います。



■リレーセレモニー

次期開催地の岐阜県に大会のシンボルである「山の日帽」を引き継ぎました。



大会実行委員会会長の杉本達治
福井県知事から江崎禎英岐阜県
知事へ「山の日帽」を渡しました。

■山鐘（8点鐘）

開会時には、山や山に関わる人々の想いを巡らせ、山への感謝の気持ちをメッセージに込めて、8回鐘を鳴らします。緑の少年団(羽生小学校、上庄小学校、三室小学校、野向小学校、平泉寺小学校)、日本ボーイスカウト福井連盟、ガールスカウト福井県連盟の皆さんが点鐘しました。



山鐘に込める思い

- 第1山鐘 山の日誕生を祝う思い
- 第2山鐘 山に親しむ機会を得ることへの思い
- 第3山鐘 山、その恩恵に感謝する思い
- 第4山鐘 山を慈しみ労わり活かす思い
- 第5山鐘 水や木など山の恵みを大切にする思い
- 第6山鐘 花や鳥、蝶など山に棲む生き物たちを大切にする思い
- 第7山鐘 山を愛する人への思い
- 第8山鐘 山で亡くなられた方々への思い

■山鐘（11点鐘）

閉会時には、開会時の8つの鐘に3つを加えて、11の鐘が鳴らされました。
開会時の皆さんと、合唱を披露してくれた福井市少年少女合唱団が点鐘しました。



山鐘に込める思い

- 第1山鐘～第8山鐘
- 第9山鐘 来年の大会の成功への思い
- 第10山鐘 大会に参加された全ての方の幸せへの思い
- 第11山鐘 明るく豊かな山の未来を子どもたちに託す思い



岐阜県知事

江崎 禎英

皆様、こんにちは。只今ご紹介いただきました、次期開催県の知事を務めております、江崎禎英と申します。

まずは、第9回となります「山の日」全国大会が、かくも盛大に、そして素晴らしく開催されましたこと、心よりお慶びを申し上げます。これもひとえに、杉本知事様をはじめ福井県民の皆様、そして開催にご尽力された多くの皆様のお力添えの賜物と、深く敬意を表する次第でございます。

先ほど、福井県の新しい歌の中に山の素晴らしさを歌う歌詞がありましたが、岐阜県にも県民の歌があり、その1番に「岐阜は木の国 山の国」という歌詞がございます。本日、大野市へ向かう最中は、お隣の県だからか岐阜県にそっくりで、正直なところ福井県から海を除けば、そこは岐阜県なのではないかと思うほどです。

さて、「山」は人類にとってその生活を営む上で、全てのものを供給してくれました。元々人類は山から生まれ平地へと降りてきた生き物です。かつて陸地のほとんどを占めていた森林は、今や世界で3割ほどにまで減少し、その減少は今も続いています。この日本は、国土の67%を森林が占める大切な山々を抱く国であります。そして、わが岐阜県はその81%が森林となっています。この豊かな森林を守る、大事な役割を担っていると思っています。

そして山は、ただ我々に恵みを与えてくれるだけではありません。昨日から九州では大変な雨が降っております。こうした自然の脅威を受け止め我々を守って下さる。そんな山を、我々自身が守っていかなければならないと思っております。

最近、気候変動による災害が頻発しておりますが、森林率日本一の高知県では毎年のように台風に見舞われながらも、山が崩れたというお話はあまり聞きません。これは、昔から多くの方が山に入り手入れをし、維持してきたからこそ、多くの災害に強い土地ができたのだと思います。

しかし今、岐阜県をはじめ多くの県では、森林は「植えすぎ」「切らなさすぎ」。林野庁長官様からお話がありましたように、切るタイミングが来ていてもなかなか山に入れない・入る人がいない。それではせっかくの山を活かすことができない。そんな思いで、第10回となります岐阜県大会では、「山に感謝する。その思いを行動にうつしていく」。そんなきっかけに出来ればと思っております。

そして、次回の大会は皆さんご存じの飛騨高山で開催いたします。世界の人にとって飛騨高山は、日本にきた際に必ず訪れる場所になっています。そんな場所で開催される記念すべき第10回大会は、世界に向けて、この山の大切さ・素晴らしさ、そして我々が果たすべき役割。こうしたものを発信できる、そんな大会に出来ればと思っております。

福井県様の素晴らしい取り組みを参考にさせていただき、何とかついていけるよう、これから岐阜県を代表して頑張っていきますことをお誓い申し上げ、次回開催県としての挨拶とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。



高山市長

田中 明

いまご紹介いただきました、高山市長の田中と申します。

飛騨高山は岐阜県の北部に位置いたします。飛騨高山は日本一大きい市で、東京都と同じくらいなんです。福井県や松本がある長野県に県境があります。第1回目の「山の日」全国大会は日本アルプスの裏側である松本市で開かれたため、記念すべき第10回を飛騨高山で開催していただけることに、非常に縁を感じております。その中で、ゆかりのある福井県のこの

開催地でバトンを受け取ることができ、非常に光栄に思っています。来年は岐阜県の江崎知事のお力添えをいただきながら、岐阜県と一緒に山の日を迎えたいと考えています。

今回、福井県の知事をはじめ、みなさま本当にありがとうございました。関係者の皆様におもてなしをいただきました。来年は飛騨高山特有のおもてなしでお迎えできればと思います。

また、私自身が高校生のときは山岳部で競技登山をやっており、山を見ながら育ち、標高は問わず山の大切さやどれだけ身近な存在なのかを、小さいころから感じてきました。

来ていただく価値のあるところだと思いますので、ぜひ来年高山にきていただければと思います。

この度は盛大に開催されましたことをお祝い申し上げまして、私からの歓迎のご挨拶とさせていただきます。来年お待ちしておりますので、宜しくお願いいたします。



第9回「山の日」全国大会実行委員会副会長
公益財団法人全国山の日協議会副会長

務台 俊介

ご紹介いただきました、「山の日」全国大会実行委員会の副会長・全国山の日協議会副会長の務台俊介と申します。

私は国会議員をやっていたときに、超党派の「山の日」議員連盟を衛藤先生と一緒につくらせていただいて、その事務局長をずっとやってきました。第1回「山の日」全国大会が松本で行われて以来、全大会に出席しております。

第9回目は杉本知事がお引き受けいただき本当に有難いと思ったと同時に、本日全国大会をずっと拝見させていただきましたが、その内容の高さに感動いたしました。

今回松本から福井に向かうにあたって、中部縦貫自動車道を通ってまいりました。気が付けば松本 - 高山 - 福井に入って、大野 - 勝山 - 永平寺町 - そして福井市。これらは想定路線で4時間以上かかりましたが、縦貫道ができると2時間半から3時間で繋がります。

私のふるさとはアルプスの麓なので日本一素晴らしい所だと思っていましたが、福井に来て今日のお話を伺って、福井には福井の素晴らしさがあると改めて思いました。先ほど HIRO さんが「地味にすごい、福井県」のお話をされていましたが、「地味に」というのは、「地に足の着いた」という意味で、非常に良い言葉だと思いました。来年は高山で行われます。これも素晴らしい大会になることを期待しています。

そして、今日は群馬県の小淵優子先生も来られています。先ほどの挨拶の中で、山小屋の環境整備、登山道の整備、そして子供の自然体験の充実。これらに取り組んでいただくというお話をさせていただきました。これこそ、これからの日本を力強く支える基盤になると思っています。我々もこの議連の活動をバックアップしていくことをお約束申し上げまして、記念式典閉会の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

歓迎フェスティバル(概要)

子どもから大人まで楽しめるワークショップや体験ブースを2会場で2日間にわたり開催し、多くの方にご来場いただきました。

■実施概要

● 大野会場

【日 時】2025年8月10日(日)～11日(月・祝) 10:00～17:00

【会 場】エキサイト広場総合体育施設 【来場者】873名



● 勝山会場

【日 時】2025年8月10日(日)～11日(月・祝) 10:00～17:00

【会 場】スキージャム勝山 【来場者】665名



■スタンプラリー



大野会場と勝山会場の両会場に設置しているスタンプを集めた方に抽選で景品をプレゼントしました。

【景 品】

リュック、山バッグ、クッションシート、
ネックチューブ、バンドナ、箸、
アミノバイタル各種

歓迎フェスティバル(大野会場)

■特別講演・対談

講演会では、辰野会長より「夢と冒険 モンベル7つのミッション」をテーマに貴重なお話を講演いただきました。対談では、辰野会長と脇本会長のつながりや思い出話、山を次世代へ繋げていくために大切なことなどを語っていただきました。



株式会社モンベル
代表取締役会長
辰野 勇



荒島愛山会会長
脇本 浩嗣



■安全登山検定

安全登山のための技術等の知識のほか、「ふくいの山」の歴史や地理、動植物について検定を実施しました。



【参加者】22名

【景 品】

○参加賞

- ・ 県内の山ピンバッジ
- ・ ミニタオル

○上位者景品

- ・ ストック
- ・ ハイドレーションパック
など

■協賛・出展者ブース

株式会社モンベル



KEEN



創業慶應2年 (株)太田旗店



岐阜県



岐阜県 高山市



環境省中部地方環境事務所・
白山自然保護官事務所



中部縦貫自動車道
建設促進福井県協議会



大野市



越前おおの山案内所



福井県山岳連盟



全国山の日協議会



■ワークショップ

竹の水鉄砲づくり



バードコールづくり



木のスプーンづくり



木の雑貨づくり



ツリークライミング®



スラックライン体験



■キッチンカー

オレノヤリカタ



黒ちゃん家



CREZELE



SWEET FIELD KITCHEN



Nihiki



越前そばの里 キッチンカー



歓迎フェスティバル(勝山会場)

■協賛・出展者ブース

スキージャム勝山



山と高原地図



勝山市



福井市



白山国立公園

(環境省白山自然保護官事務所・環白山保護利用管理協会)



白山ユネスコエコパーク



福井県猟友会



石川県/富山県



祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク
[大分県竹田市]



全国山の日協議会



特定非営利活動法人きただに村



■ワークショップ

≡ 恐竜キーホルダーづくり ≡



≡ 思い出キーホルダー ≡



≡ 木の車づくり ≡



≡ 恐竜輪投げ ≡



≡ 竹とんぼづくり ≡



≡ マウンテンバイク体験 ≡



■キッチンカー

≡ EASY BAR SNOWDROP & Justy ≡



≡ 火の鳥 ≡



≡ Cafe Amelia ≡



≡ Berry (ベリー) ≡



≡ SAKURA ≡



≡ 勝山弁天そば会 ≡



トレイルウォーク

■実施概要

福井の山と自然の豊かさを体感していただくために、県内各地の山を登るトレイルウォークを開催しました。

【開催期間】

2025年4月～7月

【内 容】

①野坂岳（敦賀市）【標高：913m】

開催日：4月27日（日）

参加者：約240名 主催：敦賀市

②丈競山（坂井市）【標高：1,045m】

開催日：4月29日（火・祝）

参加者：約90名 主催：坂井市山岳協会

③荒島岳（大野市）【標高：1,523m】

開催日：5月11日（日）

参加者：約60名 主催：荒島愛山会

④ふくいのかみをせめおとす！冒険チャレンジ

(i) 冬野城跡 城山（福井市）【標高：202m】

(ii) 金ヶ崎城跡&天筒山城跡 天筒山（敦賀市）
【標高：171m】

(iii) 杣山城跡 杣山（南越前町）【標高：492m】

開催日：7月26日（土）～27日（日）1泊2日

参加者：約20名 主催：福井県山岳連盟

【参加特典】

- ・ミニタオル
- ・缶バッジ など



ミニ
タ
オル



缶
バ
ッ
ジ

横
断
幕



オプションツアー

■実施概要

県内を代表する観光地を中心に、福井市、大野市、勝山市の名所を満喫できるツアーを企画し、県内外の方々に参加いただきました。



【内 容】

①戦国文化と絶景を満喫！

一乗谷&東尋坊バスプラン

日 時：2025年8月10日（日） 11:00～16:45

コース：福井駅

- ▶《昼食：一乗谷レストラン》
- ▶一乗谷朝倉氏遺跡博物館 ※1
- ▶東尋坊
- ▶ホテルフジタ福井
- ▶福井駅

※1…学芸員による解説付き

参加者：12名



一乗谷朝倉氏遺跡博物館

②禅と歴史の旅！心を整える

永平寺&白山信仰を巡るツアー

日 時：2025年8月10日（日） 12:00～18:00

コース：福井駅

- ▶大本山永平寺 ※2
- ▶平泉寺白山神社 ※3
- ▶道の駅「越前おおの荒島の郷」
- ▶福井駅

※2…館内案内付き

※3…現地ガイド付き

参加者：12名



平泉寺白山神社


関連イベント

概要

【開催期間】2025年4月～11月

【内容】県や市町、団体等が開催する山や自然に親しむ行事

イベントの名称	開催日	会場
ヒツジの毛刈り	4月23日	福井市足羽山公園遊園地
企画展「はじめよう！自然体験」	4月25日～6月29日	福井県自然保護センター
青葉山ハーバルビレッジ 山開き式	4月26日	ハーバルビレッジ
足羽山で渡り鳥を観察しよう	4月29日	福井市足羽山
落ち葉の下のモンスターを探せ～土壌動物調査体験（初級編）～	4月29日	福井市足羽山
自然観察シリーズ「森の中でネイチャーゲームを楽しもう」	5月3日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「春の森を楽しもう」	5月4日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「夏鳥の声を聞いてみよう」	5月5日	福井県自然保護センター
特別企画「どんぐり工作 森の材料で工作しよう」	5月3日～5月5日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「池ヶ原湿原のレンゲツツジは咲いたかな？」	5月6日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「松ぼっくりでマスコットをつくろう」	5月11日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「森の幼稚園-春蝶と散歩-」	5月18日	福井県自然保護センター
第10回三床山山開き	5月25日	三床山登山口(越前町佐々生々々神社)と三床山頂上
自然観察シリーズ「水辺の生きものをさがそう」	5月25日	福井県自然保護センター
社南スポーツ大会 城山登山	5月25日	城山
ハツ杉和ハーブロードお披露目会	5月25日	越前市ハツ杉森林学習センター
泰澄祭・越知山登山	5月25日	越知山堂室・越知山
大師山自然観察会	5月31日	集合場所：勝山市民交流センター
越前甲登山	6月1日	越前甲
第15回みどり花の県民運動大会～フラワーグリーンフェア～	6月1日	福井県総合グリーンセンター
自然観察シリーズ「森の中の昆虫を見つけよう」	6月1日	福井県自然保護センター
2025山印を集めて健康増進キャンペーン	6月1日～11月30日	福井県内
清水きららの森森林整備活動	6月7日	清水きららの森
葉っぱのエコバッグを作ろう！	6月7日	三方青年の家
初夏の動物園まつりスペシャル2Days	6月7日・6月8日	福井市足羽山公園遊園地
自然観察シリーズ「コシアブラで遊ぼう」	6月8日	福井県自然保護センター
令和7年度 レンジャー写真展～中部地方の生きもの、風景と活動の様子～	6月10日～6月19日	AOSSA 1階アトリウム
池ヶ原湿原保全作業	6月14日	池ヶ原湿原
自然観察シリーズ「夏の昆虫をさがそう」	6月15日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「夏のきのこを探そう」	6月22日	福井県自然保護センター
「山の日」全国大会 開催記念 特集展示「文学で楽しむ福井の山」	6月27日～9月28日	福井県ふるさと文学館
初心者対象 夏山安全登山教室	6月28日	福井県立クライミングセンター&城山
自然観察シリーズ「押し花でしおりづくりしませんか」	6月29日	福井県自然保護センター
企画展「ふくい星空写真展」	7月11日～8月31日	福井県自然保護センター
【夏の企画イベント】 学ぼう！若狭の海湖（うみ）	7月12日・7月13日	海浜自然センター・食見海岸
第53回 彗星会議	7月19日・7月20日	ミルク工房奥越前
福井ふるさと学びの森・海湖活性化プロジェクト	7月13日・8月3日 9月21日・10月26日	池田町内
福井ふるさと学びの森・海湖活性化プロジェクト	7月12日・7月26日・8月23日 9月13日・9月27日	おおい町名田庄納田終周辺
沢登り技術研修会	7月19日	うつろ谷
昆虫標本の作り方教室	7月19日	福井市足羽山、自然史博物館
天文教室「夏の星めぐり」	7月25日	福井県自然保護センター
自然観察会「夏のライトトラップ昆虫観察会」	7月26日	福井県自然保護センター
植物標本の作り方教室	7月26日	福井市足羽山、自然史博物館
天文教室「天体望遠鏡を作ろう」	8月1日	福井県自然保護センター
自然観察会「作ってみよう昆虫標本」	8月2日	福井県自然保護センター
セミの羽化の観察会	8月2日	福井市足羽山、自然史博物館
モルモットと仲良くなろう	8月6日	福井市足羽山公園遊園地
ハーバルの山の日	8月11日	ハーバルビレッジ
福井の森を考える ゆるもりBBQ	8月10日	和泉前坂家族旅行村 前坂キャンプ場
モンベル 大野物流センター見学ツアー	8月10日	モンベル大野物流センター
標高1,000mの絶景へ「ジャム夏山リフト～山の日スペシャル～」	8月10日～8月17日	スキージャム勝山
ニホンザルのひんやりタイム	8月11日	福井市足羽山公園遊園地
特別観望会「ペルセウス座流星群を見よう」	8月12日	福井県自然保護センター
天文教室「初めての星景写真を撮ろう」	8月22日	福井県自然保護センター
特別観望会「旧七夕で星見会」	8月29日	福井県自然保護センター
越前禅定道を往く	8月30日	福井県勝山市北谷町小原地係（白山国立公園内）
ナタショウトレイルランニングレース2025	9月7日	頭巾山青少年旅行村、ハヶ峰家族旅行村
企画展「恐竜の子孫！福井の鳥たち」	9月12日～11月9日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「森の中でネイチャービンゴを楽しもう」	9月15日	福井県自然保護センター
天文教室「美しい星景写真を撮ろう」	9月19日	福井県自然保護センター
葉脈のしおりを作ろう	9月20日	福井市足羽山、自然史博物館
自然観察会「タカの渡り観察会 in 敦賀市天筒山」	9月21日	敦賀市天筒山 山頂
自然観察シリーズ「土の中の小さなアイドルをさがそう」	9月21日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「観察の森のこけをさがそう」	9月23日	福井県自然保護センター
天文教室「秋の星めぐり」	9月26日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「夏の名残りとお秋を見つけよう」	9月28日	福井県自然保護センター
“木とふれあい森から学ぶ” 木材利用展示会	8月4日～8月11日	福井市観光交流センター
自然観察シリーズ「赤とんぼ、バッタをつかまよう」	10月5日	福井県自然保護センター
秋のトレッキング講座	①10月5日 ②11月2日	①うおまさカフェ ②保月山（経ヶ岳山系）
特別観望会「中秋の満月に、にこ（二胡）」	10月7日	福井県自然保護センター
自然観察シリーズ「県鳥のツグミは来たかな？」	10月12日	福井県自然保護センター
池ヶ原湿原のヨシ刈り	10月18日	池ヶ原湿原
特別観望会「流れ星を見よう」	10月21日	福井県自然保護センター
秋の動物園まつりスペシャル 2Days	10月25日・10月26日	福井市足羽山公園遊園地
横山ウォークラリー	10月26日 ※雨天中止	横山公園等
天文教室「月の写真を撮ろう」	10月31日	福井県自然保護センター



【第2章】 資料

開催までの経緯

年	日付	内容
令和5年度	1月19日	「山の日」全国大会開催地への立候補
	2月9日	第9回「山の日」全国大会の開催地を福井県とすることが決定
令和6年度	7月16日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 設立総会、第1回総会
	7月29日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 第1回運営委員会
	8月10日・11日	第8回「山の日」全国大会TOKYO2024参加 東京都より「山の日帽」を引継
	10月4日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 第2回運営委員会
	11月29日	第9回「山の日」全国大会の大会テーマ、ロゴマーク決定
	2月28日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 第3回運営委員会
	3月21日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 第2回総会〔書面〕
令和7年度	4月27日	トレイルウォーク（野坂岳）
	4月29日	トレイルウォーク（丈競山）
	5月10日	第9回「山の日」全国大会FUKUI2025 プレイベント開催（勝山市）
	5月11日	トレイルウォーク（荒島岳）
	6月3日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 第4回運営委員会
	6月17日	第9回「山の日」全国大会実行委員会 第3回総会〔書面〕
	7月26日・27日	トレイルウォーク（城山、天筒山、杣山）
	8月10日・11日	第9回「山の日」全国大会FUKUI2025開催 （歓迎レセプション/記念式典/歓迎フェスティバル/オプションツアー） 岐阜県へ「山の日帽」を引継

広報

概要

福井県の山の魅力や豊かな恩恵を広く発信するため、各種媒体による広報を展開し、本大会に向けた機運醸成を図りました。

広報実績

印刷物による広報

- ポスター（B2） 550部
- チラシ（A4） 36,450部

HP・SNSを活用した広報

- 大会公式ホームページ

- SNSアカウント開設

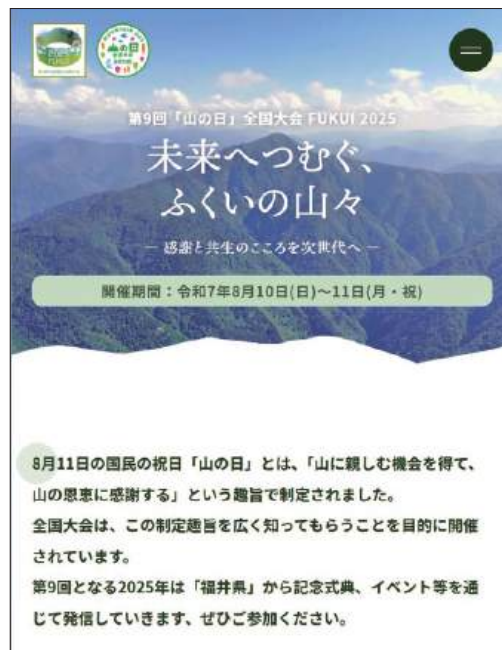
・ Instagram



・ X



- 大会PR動画 4本



大会公式HP



Instagram



X



PR動画



PR動画 命育む山編（福井市）



PR動画 癒しの山編（大野市）



PR動画 祈りの山編（勝山市）

テレビ広報

日付	放送局	概要
5月4日	FBCテレビ（朝だよ！ハピネスふくい）	「たんけん！ふくいの豊かな自然」
7月4日	FBCテレビ（おじゃまっテレ）	オプションツアー参加者募集
8月1日～11日	FBCテレビ（CM）	歓迎フェスティバル告知
8月2日	福井テレビ（輝け！ふくいチャレンジャー）	ふくいの山を楽しもう～もうすぐ山の日全国大会～
8月6日	FBCテレビ（おじゃまっテレ）	コウフクイズ 山の日に関する出題
8月7日	FBCテレビ（おじゃまっテレ）	北陸3県イイトコどり 山の日を前に
8月11日	FBCテレビ（FBCニュース）	北陸初「山の日」全国大会 山に親しみ恵みに感謝

新聞広告

日付	新聞名	概要
7月1日	福井新聞（福井県からのお知らせ）	記念式典一般参加者募集
8月1日	福井新聞（福井県からのお知らせ）	歓迎フェスティバル告知
8月9日	日刊県民福井	大会告知
8月9日	中日新聞	大会告知
8月11日	福井新聞	歓迎フェスティバル告知

雑誌・WEB広報

日付	雑誌名、WEBサイト	概要
3月下旬	広報かつやま（3月号プラス）	関連イベント募集
4月下旬	広報かつやま（4月号プラス）	プレイベント告知
5月下旬	広報おおの（6月号）	荒島岳トレイルウオーク開催報告 手作り缶バッジ制作報告（奥越明成高等学校）
6月上旬	PR TIMES	大会告知
6月中旬	ふーぼ	オプションツアー参加者募集
	福井県公式観光サイト「ふくいドットコム」	オプションツアー参加者募集
	岳人（7月号）	大会概要
6月下旬	広報おおの（7月号）	記念式典一般参加者募集
7月上旬	広報かつやま（7月号）	歓迎フェスティバル告知
7月中旬	岳人（8月号）	「山の日」2025～福井の山～
7月下旬	林野（7月号）	大会概要
	広報おおの（8月号）	歓迎フェスティバル告知
	県広報誌「NEWSふくい」（8月号）	歓迎フェスティバル告知
8月下旬	広報おおの（9月号）	記念式典と歓迎フェスティバル開催報告
9月下旬	県広報誌「NEWSふくい」（10月号）	開催報告

ラジオ広報

日付	放送局	概要
5月5日	FBCラジオ（ふくいチャレンジ通信）	プレイベント告知
5月9日	FM福井（県政スポット）	プレイベント告知
6月23日 6月28日 6月30日	FBCラジオ（ふくいチャレンジ通信）	記念式典一般参加者募集
6月27日	FM福井（県政スポット）	記念式典一般参加者募集
7月8日	FBCラジオ（ラジ+）	オプションツアー参加者募集ほか
7月31日 8月1日 8月4日	FBCラジオ（ふくいチャレンジ通信）	歓迎フェスティバル告知
8月1日 8月8日	FM福井（県政スポット）	歓迎フェスティバル告知



年	日付	名称	場所
令和6年度	8月11日	山の日フェア	KITTE大阪
	9月7日・8日	フクモクフェス	サンドーム福井
	9月26日～29日	ツーリズムEXPOジャパン2024	東京ビッグサイト
	9月28日・29日	ふくい食と農の博覧会	福井県庁周辺
	10月13日・14日	越前若狭お城フェス	ザ・グランユアーズフクイ
	10月20日	第47回全国育樹祭	サンドーム福井
	12月7日・8日	スポカルFUKUI2024	サンドーム福井
令和7年度	1月28日	第2回JAPAN TRAIL FORUM	池袋サンシャインシティ
	3月1日・2日	大阪アウトドアフェス	万博記念公園
	5月17日・18日	第11回夏山フェスタ	愛知県産業労働センター
	6月1日	第15回みどりと花の県民運動大会	福井県総合グリーンセンター
	8月2日・3日	第9回「山の日」全国大会PR	そよら福井開発



大阪アウトドアフェス



第11回夏山フェスタ



第15回みどりと花の県民運動大会

● 記念式典プログラム



表



裏

● スタッフユニフォーム



● 歓迎フェスティバルプログラム



表



裏

● 協賛ボード



● ネックチューブ



● 配布物



実行委員会・運営委員会

実行委員会

【構成員】

役 職	構成団体	職 名	氏 名	備 考
会 長	福井県	知事	杉本 達治	
副会長	公益財団法人全国山の日協議会	副会長	務台 俊介	
	福井市	市長	西行 茂	
	大野市	市長	石山 志保	
	勝山市	市長	水上 実喜夫	
委 員	警察庁	長官官房審議官	和田 薫	～令和6年8月7日
			土屋 暁胤	令和6年8月8日～令和6年9月30日
			大濱 健志	令和6年10月1日～令和7年7月3日
			服部 準	令和7年7月4日～
	消防庁	国民保護・防災部長	小谷 敦	～令和7年6月30日
			門前 浩司	令和7年7月1日～
	文部科学省	社会教育振興総括官	平野 誠	～令和7年3月31日
			堀野 晶三	令和7年4月1日～令和7年7月14日
			神山 弘	令和7年7月15日～
	スポーツ庁	審議官	橋場 健	～令和7年7月14日
		スポーツ総括官	大杉 住子	令和7年7月15日～
	林野庁	森林整備部長	長崎屋 圭太	～令和7年6月30日
			齋藤 健一	令和7年7月1日～
	国土交通省	水管理・国土保全局 砂防部長	草野 愼一	～令和7年6月30日
			國友 優	令和7年7月1日～
	観光庁	審議官	鈴木 貴典	～令和7年6月30日
			田中 賢二	令和7年7月1日～
	環境省	自然環境局長	植田 明浩	～令和7年6月30日
			堀上 勝	令和7年7月1日～
	公益財団法人全国山の日協議会	理事長	梶 正彦	
監 事	福井県	会計管理者	野路 博之	～令和7年3月31日
			高橋 道男	令和7年4月1日～
	福井市	会計管理者	荒谷 聖二	～令和7年3月31日
			村本 貴史	令和7年4月1日～
	大野市	会計管理者	笠松 健男	～令和7年3月31日
			帰山 博子	令和7年4月1日～
	勝山市	会計管理者	山田 安泰	～令和7年3月31日
			谷内 英之	令和7年4月1日～

【特別職】

役 職	構成団体	職 名	氏 名
名誉顧問	公益財団法人全国山の日協議会	会長	谷垣 禎一
顧 問	公益財団法人全国山の日協議会	副会長	衛藤 征士郎

運営委員会

役 職	構成団体	職 名	氏 名	備 考
委員長	公益財団法人全国山の日協議会	理事・事務局長	手塚 友恵	
副委員長	福井県	エネルギー環境部長	獅子原 朋広	
委 員	環境省中部地方環境事務所	所長	小森 繁	～令和7年6月30日
			松下 雄介	令和7年7月1日～
	林野庁近畿中国森林管理局 福井森林管理署	署長	溝部 進	～令和7年3月31日
			長岡 浩明	令和7年4月1日～
	福井市	商工労働部観光文化 スポーツ局観光振興課長	安井 正樹	～令和7年3月31日
			野嶋 誠	令和7年4月1日～
	大野市	地域経済部 農業林業振興課長	帰山 康一朗	
	勝山市	商工文化課長	深見 正樹	～令和7年3月31日
			山田 安泰	令和7年4月1日～7月13日
			中村 博紀	令和7年7月14日～
	福井県	交流文化部		
		観光誘客課長	野村 佳代	～令和7年3月31日
		副部長(観光政策)	山田 輝雄	令和7年4月1日～
		農林水産部 森づくり課長	土橋 寛徳	～令和7年3月31日
			黒田 真奈美	令和7年4月1日～
		エネルギー環境部 自然環境課長	片山 博之	～令和7年3月31日
			田島 正強	令和7年4月1日～
	福井県山岳連盟	理事長	桒田 靖憲	
	公益社団法人福井県観光連盟	専務理事	畑中 容子	



第9回「山の日」全国大会実行委員会運営委員長
公益財団法人全国山の日協議会理事・事務局長

手塚 友恵

毎回のことながら、「山の日」全国大会のテーマとコンテンツの骨子を練り上げる作業は、喜びと苦しみ
の積み重ねです。今回の福井県での開催にあたっては同じで、実行委員会設立趣意書に記された「な
ぜ開催するのか」という＜理念＞を、「どのように表現するのか」という＜仕組み＞へと昇華させることに、
前年の8月頃から福井県の皆さんとともに知恵を絞りました。多くの方々の文殊の知恵によって編み出され、
最終的に選定された大会テーマは、「未来へつむぐ、ふくい山々感謝と共生のこころを次世代へー」。
このテーマを映像で表現したPR動画は、要約すると次のように「福井の自然と人間」の相関を素敵に表現し
ていました。

越山若水の FUKUI

水分神（みくまりのかみ）宿る霊峰

降り染み流れたる水は森林・田畑・いのち・文化を潤し

魚付林（うおつきりん）迫る海で幸を育む

恵みも災いももたらす山と自然

ヒトはそれを畏れ、そして祈り、やがて神仏に近づく

当時、自分の中に芽生えつつあった「畏れ多い福井の山と自然」への敬意を、優しく、そして深く表現
してくれたこの映像を観て、「これぞ福井！」と心の底から感じました。

開催準備のため何度も福井を訪れる中で、山林や田畑、海浜の景勝地、そして多くの神社仏閣史跡を巡
りましたが、それ以上に記憶に残ったのは、出会う県民の皆さん一人ひとりの笑顔でした。ほとんどが一期
一会の出会いでしたが、どの方も「よくぞ訪ねてくれました」と言わんばかりに、丁寧で温かな言葉をかけ
てくださいました。そんなおもてなしの心を育む背景には、厳しくも豊かな福井の山と海の自然があること
を改めて実感しました。——まさに「厳しさと豊かさが育てる心の優しさ」でしょう。

恐竜だけではない福井の「もう一つのページ」を、この全国大会を通じてめくっていただこう——。
そんな思いを胸に、実行委員会事務局のメンバーは昼夜を問わず思索し行動し続けました。その執念深い働き
ぶりは「新しいおもてなし」への再挑戦であり、まさに彼ら彼女らのプライドをかけた自分たち自身へのチャ
レンジのようでもありました。

海に面した県での大会開催は、しばしば「水が取り結ぶ山と海の連携」がテーマとして浮かび上がり
ます。福井大会でもまた、その連携プレイが新たな形で表現されました。それはやがて、恐竜絶滅の原因

仮説—巨大隕石の衝突による環境激変（大量の塵が太陽光を遮り、寒冷化、植物減少、草食・肉食恐竜の絶滅、食物連鎖の崩壊）—へとつながり、現代の異常気象とその行く末の連想をも誘いました。

私たちは、太古の恐竜たちが辿った運命を再びなぞることがあってはなりません。福井の人々の暮らしと精神を、決して「化石」にしてはなりません。ある夏の日のひと華の花火で終わらせることなく、この大会を契機に得られた学びとつながりを未来へと紡いでいく——。それこそが、私たちが胸に刻むべき「福井の山の日」のレガシーであり、太古の恐竜たちからの伝言でしょう。

結びに、開催にあたりご尽力くださった福井県、福井市、大野市、勝山市、ご助言をいただいた先催県の皆様、政界・官界の皆様、ご協賛を賜った企業・団体・個人の皆様、そしてご来会くださった多くの皆様の温かいご支援とご協力によって、本大会は成り立ちました。運営の責任者として厚く御礼を申し上げ、実施報告のご挨拶とさせていただきます。



mont-bell



山と高原地図



STYLE OF JAPAN, INC.

株式会社太田旗店

日信化学工業株式会社

株式会社野村塗装店

福井和泉リゾート株式会社

株式会社システム研究所

関西電力株式会社

山と水と緑の会

日本原子力発電株式会社

北陸電力株式会社

イワタニ・プリムス株式会社

そよら福井開発

前田建設工業株式会社

有限会社ダイヤ工芸

越前漆器協同組合

えちぜん鉄道株式会社

福井鉄道株式会社

株式会社ハピラインふくい

株式会社福井銀行

福井県信用金庫協会

株式会社豊栄観光

山二工業株式会社

一般社団法人勝山建設業会

一般社団法人大野建設業会

株式会社熊谷組

株式会社かじそ仏壇製作所

株式会社カンパネラ

一般社団法人福井県建設業協会

株式会社ニットク

エフケーユーテクニカル株式会社

株式会社ナカニシヤ出版

福井県山林協会

福井県木材組合連合会

一般社団法人福井地区建設業会

福井県森林組合連合会

飛鳥建設株式会社



第9回「山の日」全国大会 FUKUI2025 大会報告書

【企画・発行】

第9回「山の日」全国大会実行委員会
(令和7年12月)